

シグマ研究委員会光核反応データWG 1994年度第1回会合議事録

日時：1994年6月24日(金) 13:30 - 16:30

場所：原研本部会議室

出席者：浅見、井頭、五十嵐、岸田、千葉、村田

欠席者：井口、北沢、小林、肥田

議事：

1. 前回議事録の確認を行い一部字句の修正をした後承認された。
2. 一般報告事項
 - (a) 岸田委員が運営委員会の報告を行なった。
 - (b) 五十嵐委員が諮問調整委員会の報告を行なった。
 - (c) 岸田委員が運営委員会に報告した1993年度活動報告及び1994年度活動計画について説明を行なった。
3. 評価関連事項
 - (a) 千葉委員がMF=1の作成法についてJENDL Fusion Fileを例として解説した。次回会合までに千葉委員が光核反応ファイル用のMF=1のテンプレートを作成することになった。
 - (b) ファイル編集委員会の話合いの結果、評価者がファイル化作業まで行えない場合は、編集委員会の方でファイル化を行うとのアナウンスが千葉委員よりなされた。
 - (c) 岸田委員が光核反応断面積の理論評価とファイル作成に使用するALICE-FとPEND6-Fの改良版について説明した。ガンマ線生成断面積は不要と判断してファイルに入れないようにPEND6-Fの出力を修正した。しかし、入れておいた方が良いのではないかとの意見に集約されたので、ガンマ線生成断面積もファイルに含まれるように再度プログラムを修正することになった。
 - (d) 岸田委員が資料に基づいてPhotnuclear Dataの編集と評価に関するCoordinate Research ProgramのDraft Proposalについて説明した。このプロポーザルはロシアのVarlamovの発案に基づき菊池核データセンター室長と中国のZhuangが、パリで開催されたIAEAの会合中に纏めたものである。
 - (e) 村田、岸田の各委員が資料に基づいてJAERI-Mの原稿について説明した。
4. 評価最終・中間報告
 - (a) 岸田：理論評価値と実験値との食い違いが大きい核種に関して、現在再評価を行っている。
 - (b) 浅見(W)：吸収断面積及び中性子放出断面積ならびに理論評価を含めて ^{182}W , ^{184}W , ^{186}W の評価は終了。但し、 ^{186}W の理論評価に使用する準位密度パラメータのとりかたに若干の再考の余地があるので、次回までに多少の見直しを行う。また、MF=3のMT=201から207の値がおかしいので、これも原因究明を行う。

5. その他

- (a) 小林委員より Ti と Ta の評価結果を受け取っている。光吸収断面積と中性子放出断面積の評価を終了し、あとは理論評価を残すのみの段階まで来ている。

6. 次回予定

- (a) 次回は平成6年9月9日(金)に原研本部で開催予定。

- (b) 主な内容は、

- i. MF1 のテンプレート紹介 (千葉委員)
- ii. 一般連絡事項
- iii. 評価結果報告 (各委員)
- iv. JAERI-M 原稿紹介 (各委員)
- v. その他

配布資料 :

- PNWG-94-1 : 光核反応データ WG1993 年度活動報告及び 1994 年度活動計画
PNWG-94-2 : JENDL-3.2 のコメント作成法 (千葉、中川)
PNWG-94-3 : 光核反応断面積評価プログラムセット (岸田)
PNWG-94-4 : DRAFT PROPOSAL for Coordination Research program of Photoneuclear Data
PNWG-94-5 : Manuscript for JAERI-M on Photoreaction Nuclear Data WG: ^{26}Mg , $^{29,30}\text{Si}$ (岸田)
PNWG-94-6 : Manuscript for JAERI-M on Photoreaction Nuclear Data WG: ^{12}C , ^{16}O (村田)
PNWG-94-7 : W(^{182}W , ^{184}W , ^{186}W) の光核反応データの評価 (浅見)